

2015年(平成27年)10月9日(金曜日)

## 核廃絶運動に ノーベル賞を

NPO理事萩原一夫 67

(横浜市泉区)

三日一面「平和賞 原点  
回帰を」に新鮮な感動を覚  
えた。ノーベルの遺志を尊

重して、平和賞の原点とも  
いえる「軍縮」や「非核」  
の具体的な活動に焦点をあ  
てるべきだ、という動きが  
あるとの報道であった。

核兵器の悲惨さを身をも  
って体験した日本の被爆者  
団体が、地道に続けてきた  
核廃絶への運動の労苦が評

価されることを強く期待し  
たい。広島、長崎への原爆  
投下から七十年でもある今  
年のノーベル平和賞に最も  
ふさわしいと思った。

ロシアのプーチン大統領  
が核兵器使用を示唆するな  
ど世界はきな臭さを増して  
いる。また、武器輸出を解

禁し、集団的自衛権行使に  
道を開いた安倍政権が「平  
和国家」日本を変容させつ  
つある今日、日本の被爆者  
団体が受賞した場合、「戦  
争は二度と繰り返さない」  
ことを誓って再出発した戦  
後の日本が評価されること  
にもなると思う。